



IT Automation BASE 【座学】

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

Exastro IT Automation Version 1.9
Exastro developer

目次

1. はじめに
 - 1.1 [本書について](#)
2. 管理コンソールの説明
 - 2.1 [システム設定](#)
 - 2.2 [RBAC（ロールベースアクセス制御）](#)
3. 基本コンソールの説明
 - 3.1 [ITAにおける機器の管理](#)
 - 3.2 [オペレーションの概要](#)
 - 3.3 [ER図の表示](#)

1. はじめに

1.1 本書について

メインメニュー

- 本書では、メニューグループの「**管理コンソール**」「**基本コンソール**」についてご説明します。

- **管理コンソール**

- システム設定
- RBAC（ロールベースアクセス制御）

- **基本コンソール**

- ITAにおける機器の管理
- オペレーションの概要
- ER図の表示



2. 管理コンソールの説明

2.1 システム設定

■ 「システム設定」メニューは、システム導入・運用時に設定すべき各種情報の登録を行います。設定項目は、以下のとおりです。（次項に続く）

項目名	説明
IPアドレス規制	IPアドレスを利用したアクセス規制の有効/無効を選択可能
アップロード禁止拡張子	ファイルアップロードを禁止する拡張子
アカウントロック継続期間	アカウントロック起点日時からロック状態を継続する期間
パスワード誤り閾値	アカウントをロックするためのパスワード失敗閾値
パスワード誤りカウント上限	パスワードの連続誤りをカウントする上限回数
パスワード再登録防止期間	同一パスワードの再登録を防止する期間
パスワード有効期間	パスワードの有効期間

2.1 システム設定

■ 「システム設定」メニューは、システム導入・運用時に設定すべき各種情報の登録を行います。設定項目は、以下のとおりです。

項目名	説明
認証継続期間：未操作	未操作時に認証(セッション)を継続する期間
認証継続期間：最長	認証(セッション)を継続する最長期間
画面デザイン選択	画面のデザイン設定
Symphony / Conductor インターバル時間	定期作業実行に登録されたSymphony・Conductorが 未実行（予約）ステータスに遷移するまでのインターバル時間
「ロール」ボタンの表示切替	ログインしているユーザがどのロールに所属しているかを 表示する「ロール」ボタンの有効/無効を選択

2.2 RBAC(ロールベースアクセス制御) (1/4)

RBACとは

RBACは役割ごとに権限を与える方法です。

ユーザ個人に対して直接許可が与えられるのではなく、ロールを通して与えられるため、アクセス権の管理は、ロールへのアクセス権の割り当てという形になります。

●メニュー毎ごとのRBAC

ユーザ毎にアクセスを許可するロールを付与することで、ユーザごとにメニューへのアクセスを制御することができます。また紐付の際には「メンテナンス可」「閲覧のみ」が選択でき、「メンテナンス可」を選択するとデータや履歴の確認、複製、更新、廃止を行えます。「閲覧のみ」を選択するとデータと履歴の確認のみ行うことができます。

●データレコード毎のRBAC

ユーザ毎にアクセスを許可するロールを付与し、データレコード毎にロールを付与することで、データレコード毎のアクセスを制御できます。

上記機能を利用しない場合、デフォルトアクセス権およびアクセス許可ロールを空白にすることで、どのユーザからでも閲覧が可能になります。

操作手順等の詳細につきましては、[利用手順マニュアル](#)をご参照下さい。

2.2 RBAC(ロールベースアクセス制御) (2/4)

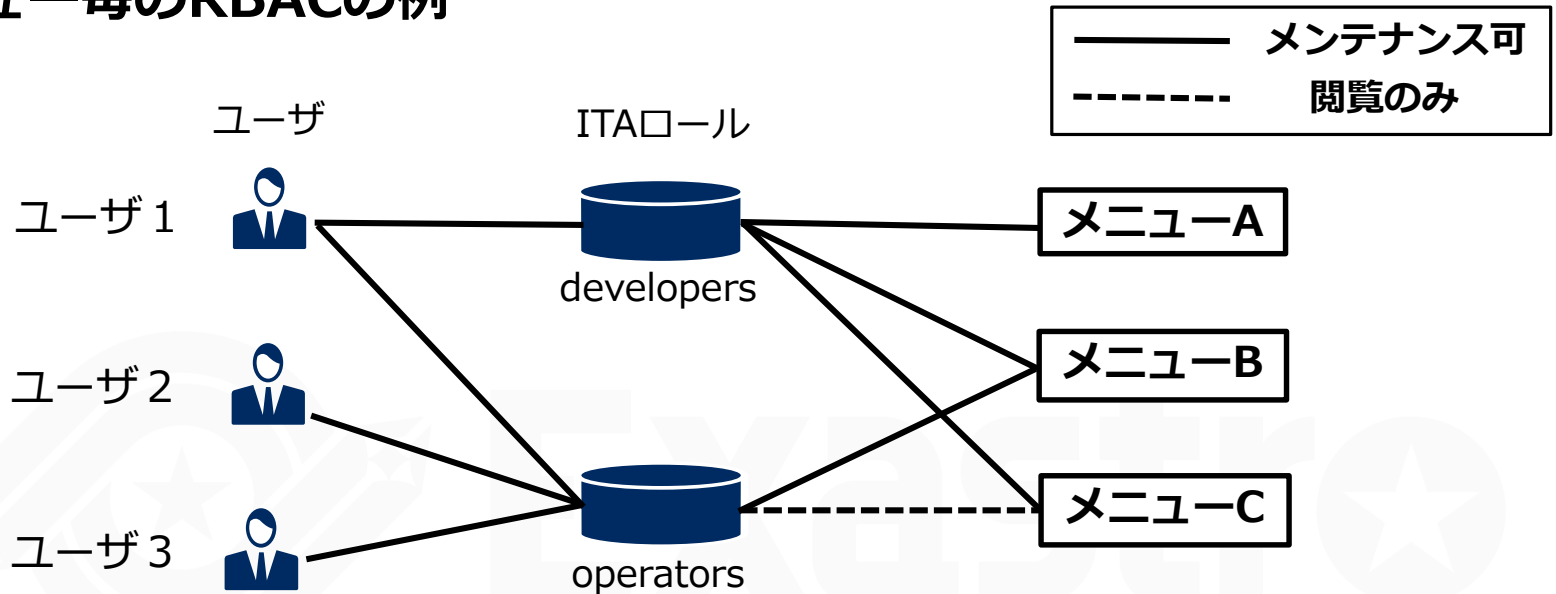
「管理コンソール」メニューグループ内のメニュー説明

- **メニューグループ管理**
 - ・メニューを複数束ねるものです
- **メニュー管理**
 - ・メニューは必ず一つのメニューグループに所属します
- **ロール管理**
 - ・メニューへのアクセス権限を役割定義するものです
- **ユーザ管理**
 - ・ユーザは複数のロールを持つことが可能です
 - ・ActiveDirectoryと連携し、ユーザ情報を取得することが可能です
- **ロール・メニュー紐付管理**
 - ・ロールごとにメニューへのアクセス権限をメンテナンスできます
- **ロール・ユーザ紐付管理**
 - ・ユーザごとに所属するユーザをメンテナンスできます



2.2 RBAC(ロールベースアクセス制御) (3/4)

メニュー毎のRBACの例

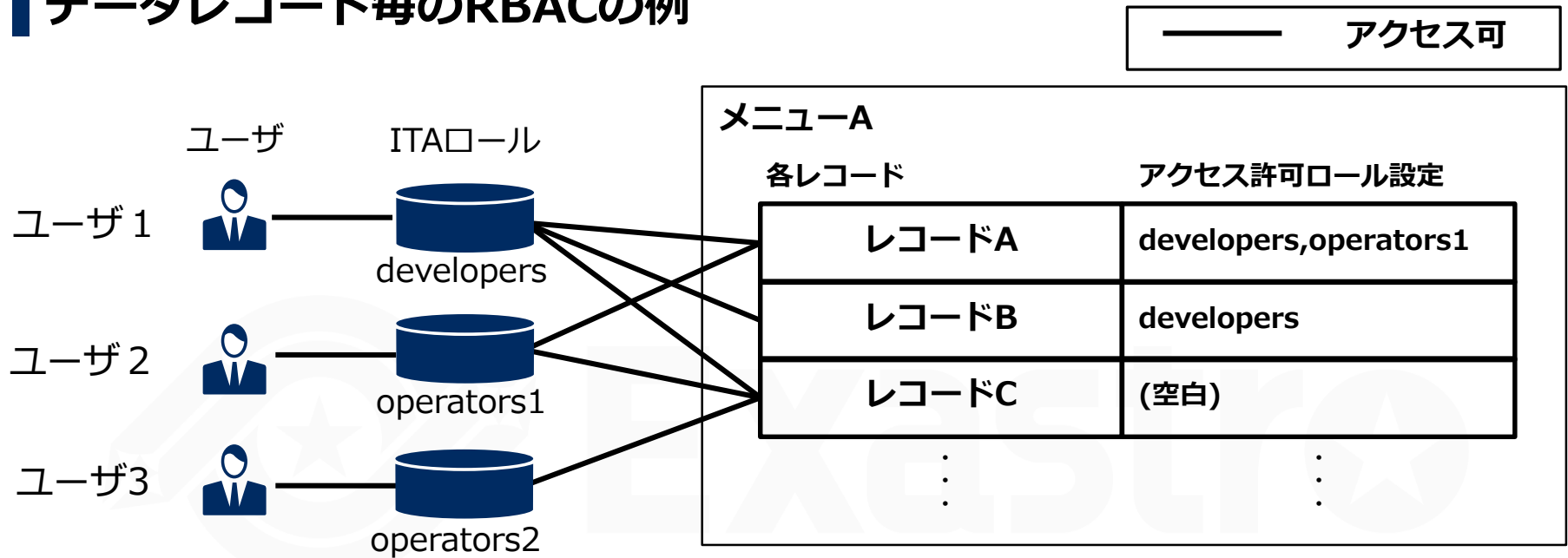


- メニューA . . .
ユーザ1のみがメンテナンス可
- メニューB . . .
ユーザ全てがメンテナンス可
- メニューC . . .
ユーザ1がメンテナンス可、ユーザ2・3が閲覧のみ可

※ ユーザ1は、メニューCに対して『メンテナンス可』と『閲覧のみ』両方の権限がありますが、『メンテナンス可』の権限が優先されます

2.2 RBAC(ロールベースアクセス制御) (4/4)

データレコード毎のRBACの例



- レコードA・・・
developers, operators1へアクセス権を付与
- レコードB・・・
developersのみアクセス権を付与
- レコードC・・・
アクセス許可ロールを空白(全ユーザがアクセス可能)

※各ロールがメニューAとの紐づけを設定していることが前提です。
(前項のメニュー毎のRBAC設定を参照)

3. 基本コンソールの説明

3.1 ITAにおける機器の管理 (1/2)

ITAにおける機器の管理

「基本コンソール」メニューグループ >> 「機器一覧」メニューでは、作業対象ホストの必要情報を登録します。

ホストごとに認証情報が設定可能です。

認証方式については「パスワード認証」と「鍵認証」の2種類から選択ができます。

主な登録項目

- | | | |
|-------------|-------------|----------|
| ・ HW機器種別 | ・ ホスト名 | ・ IPアドレス |
| ・ ログインユーザID | ・ ログインパスワード | ・ 認証方式 |

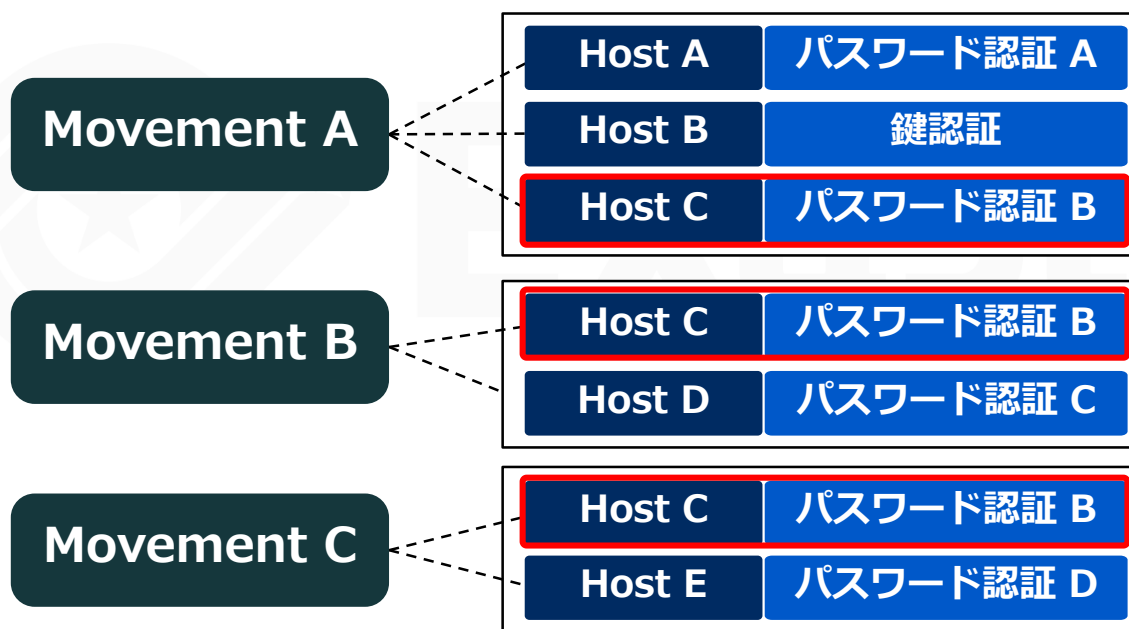
3.1 ITAにおける機器の管理 (2/2)

ITAにおける機器の管理

ITAでは、機器情報を別管理させることにより、機器情報の再利用性を高めることができ、設定情報変更などにも柔軟に対応することが可能です。

これらの機器の管理の活用方法につきましては[クイックスタート](#)を参照ください。

※ 「Movement（ムーブメント※ITAの独自用語）」とは作業の単位を意味します。



【例】 ホストCのパスワード変更が必要になり、変更を実施した。



【結果】 「ホストCが紐付いている全てのMovement」に自動的に変更情報が反映される。

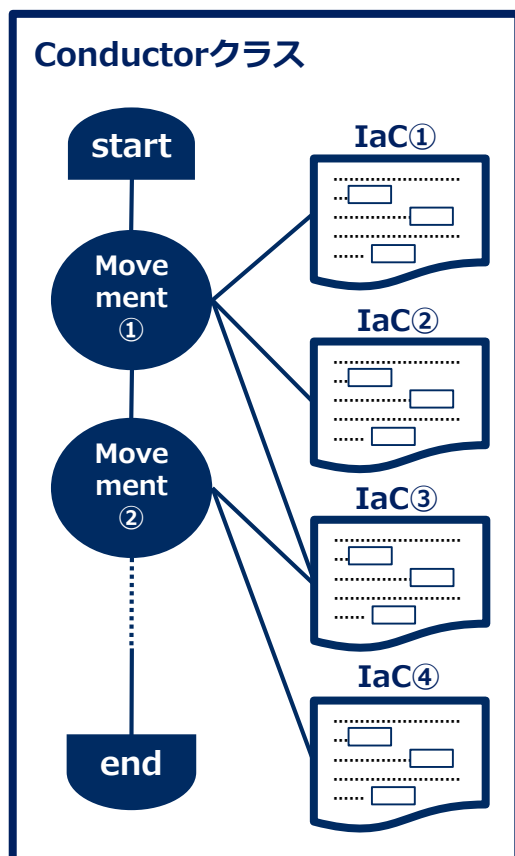
3.2 オペレーションの概要

オペレーションとは

ITAでの作業実行単位のことです。

作業予定、実行履歴などを管理することが可能です。

オペレーションの活用方法につきましては[クイックスタート](#)を参照ください。



オペレーションX

対象機器A/B



パラメータシート

	P 1	P 2	P 3	...
A	-	-	-	
B	-	-	-	

対象機A/Bが
設定されます

オペレーションY

対象機器C



パラメータシート

	P 1	P 2	P 3	...
C	-	-	-	

対象機器Cが
設定されます

3.3 ER図の表示

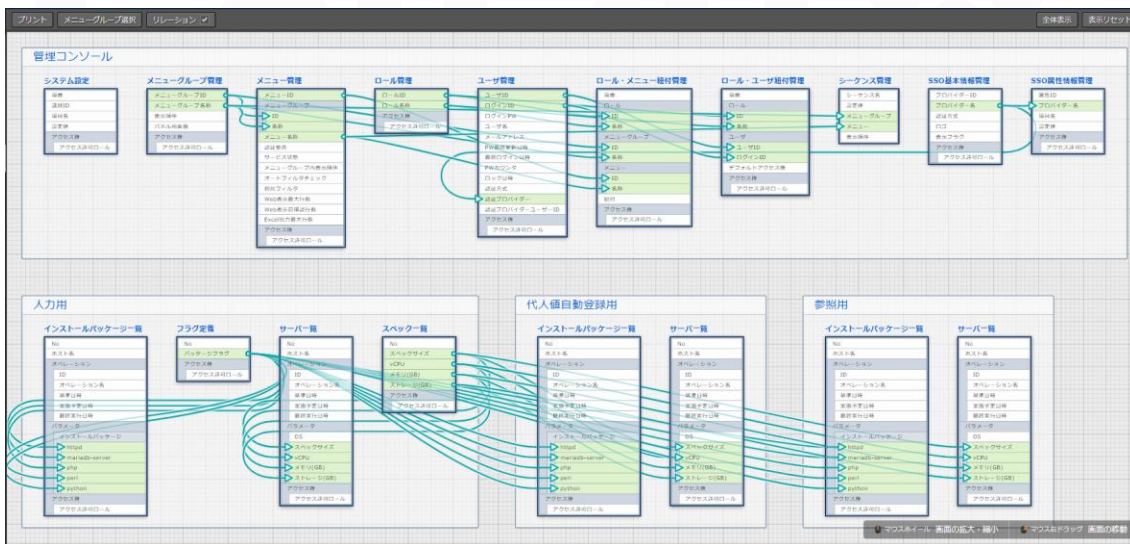
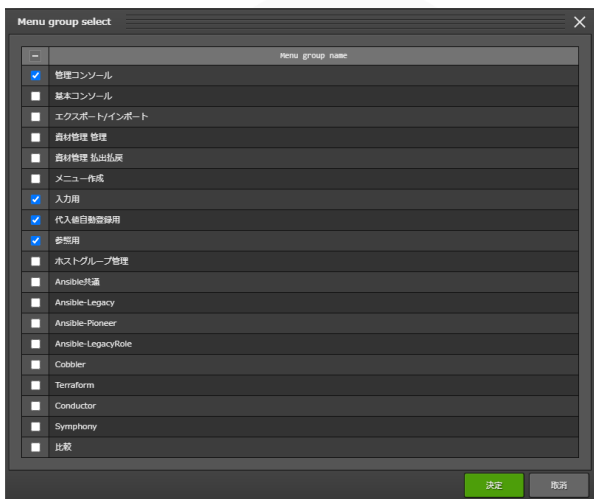
ER図とは

「基本コンソール」メニューグループ >> 「ER図表示」でER図を表示します。

ER図では選択したメニューグループの各メニューと参照データの紐づけ(リレーション)を表示し、プリント出力ができます。

表示内容はログインユーザが閲覧可能権限を持つメニューのみ表示されます。

操作手順等の詳細につきましては、[利用手順マニュアル](#)をご参照下さい。





Exastro